

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ikikata		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん一人ひとりに合わせた活動を提供している。	お子さんの発達段階を把握したうえで、活動を設定し、関わりながら細かな調整を行っている。	学校や、ご家庭での姿をお聞きし、お子さんそれぞれの生活に合わせた支援を考えていく。
2	さまざまなスタッフが関わることができるよう、配置している。	毎回の振り返りを記録し、次回の活動内容に活かせるよう共有している。	スタッフ間での共有や検討の時間を増やし、支援内容を深めていく。
3	個別での対応を行い、お子さんとじっくり関わっている。	マンツーマンで関わられるよう、スタッフを配置している。	支援内容を検討し、よりよいものにしていくとともに、スタッフの研修や会議により資質の向上に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を開催できていない。	療育の時間と、保護者会の時間の兼ね合いで、時間や場所の設定が難しい。	土曜日や祝日などを活用していけるよう、ニーズを聴取しながら、スタッフで話し合っていく。
2	地域の方や外部機関との交流機会がない。	事業所では、個別かつ短時間での療育を行っているため、外出機会がない。	スタッフの地域の行事への参加などを検討していく。
3			